

## 公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

# 2015年度 事業報告書

( 2015年 4月 1日から2016年 3月31日まで )

### 概 況

当該年度の我が国経済は、このところ輸出や生産が横ばいとなるなど弱さがみられるものの大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策の推進により設備投資に持ち直しの動きがみられ、企業収益も非製造業を中心に改善傾向にある等、回復が緩やかに続きました。

この基調は、中国をはじめとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクがあるものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果も手伝い、年度が変わっても緩やかに続くと思われています。

ある民間シンクタンクが行った調査によりますと、企業における教育研修費用の予算額は前年度からほぼ横ばいであったものの、1名あたりの実績額は15%ほど増加しました。研修の内製化に取り組んでいる企業は、社内講師の不足という問題もあってやや減少したとのことでした。

そのような背景もあって、本会の講座や資格認定、VE活用支援など人材育成に係る事業では、前年度の実績を上回ったものがいくつかみられました。「VEの基礎」通信講座も、開講してから1年が経過し、その認知度が高まってきたことから、受講者が少しずつ増え始めました。

本会の大きな収入源であるVEリーダー（VEL）認定試験も、当該年度から始めた出張開催の効果もあって、受験者が2年前の水準にまで回復してまいりました。企業や団体等への出前講座も、積極的に営業活動を行ってきた結果、順調に受注数を伸ばしております。

経済が回復基調にある一方で、我が国の構造的な問題として生産年齢人口は減少が続いております。同人口は約20年前の1995年に8,700万人を超えましたが、2010年には8,100万人にまで減少しました。2027年には7,000万人、2051年には5,000万人を割り、2060年には4,400万人にまで減少することが予想されております。

また製造業の国内生産拠点についても、海外移転工場の国内回帰という動きが一部にありましたが、国内では上記の通り生産年齢人口の減少により労働力の確保が不可能となる恐れが将来的に高いこと等から、いずれは減少するものとみられております。

そのような国内事情と、非製造分野がGDP及び就労者数の7割を占めているという我が国の実態を踏まえ、本会では大手製造業及び建設業に引き続きVEを活用していただけるよう努めるとともに、非製造分野や海外等にも活路を見出すべく努めております。非製造分野については、サービス分野及び公共分野、教育分野を対象に取り組みを行いました。教育分野については、ESD（Education for Sustainable Development）を推進している公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の協力を得て、活動を進めております。

海外については、中国やタイでのVE普及に取り組みました。中国では、上海VE協会と提携して同国初のVEL認定試験を行い、その結果10名を超えるVELが誕生しております。

これらの新たな取り組みは次年度も継続し、より強化・充実させていく所存です。教育分野については日本ユネスコ協会連盟と共同で本格的な活動を始め、海外については中国・タイだけでなくその他のアジア諸国にまで範囲を広げてVE普及の支援を行いたいと考えております。

# 1. 講座

## 1) VE基礎講座の開催

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	5月21日～22日	6月11日～12日	7月16日～17日	7月16日～17日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会	新大阪丸ビル
受講者	12名	19名	27名	16名

	第5回	第6回	第7回	第8回
開催日	9月3日～4日	9月3日～4日	11月12日～13日	11月19日～20日
会場	日本VE協会	新大阪丸ビル	日本VE協会	新大阪丸ビル
受講者	18名	13名	26名	20名

	第9回	第10回	第11回	第12回
開催日	12月17日～18日	1月18日～19日	1月28日～29日	3月10日～11日
会場	日本VE協会	日本VE協会	新大阪丸ビル	日本VE協会
受講者	20名	12名	15名	28名

## 2) 「バリュー・マネジメント（VM）実践塾」各種講座の開催

### (1) 「テクニカルスキルコース」の開催

	業務革新のための ソフトVE	創造カトレーニング	開発設計のVE
開催日	6月18日～19日	7月23日～24日	8月24日～25日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	15名	16名	15名

	VEブラッシュアップ
開催日	9月1日～2日
会場	日本VE協会
受講者	30名

### (2) 「アドバンスコース」の開催

	VEの原点的思考 (機能分析中心)	経営者を納得させる VE提案書の書き方	VEチームを価値創造集団へと導く ファシリテーション力
開催日	7月14日	7月28日	8月21日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	4名	7名	6名

	VEを組織的に適用するための マネジメント
開催日	8月31日
会場	日本VE協会
受講者	4名

### 3) その他研修会等の開催

#### (1) スキルアップ講座の開催

	TRIZ活用術	不利益ワークショップ	インストラクション スキルアップ
開催日	7月 6日	7月29日	11月26日
会 場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	5名	7名	4名

#### (2) その他VE関連セミナーの開催

	日本式モノづくり工学入門 出版記念講演会	具体例でしっかり学べる 改善マインド入門	VES受験直前勉強会
開催日	7月 7日	(Web セミナー)	9月23日
会 場	日本VE協会		日本VE協会
受講者	21名	12名	18名

	1日でわかる 改善マインド入門	論文執筆入門講座
開催日	3月 4日	3月 8日
会 場	日本VE協会	日本VE協会
受講者	3名	8名

#### (3) 「VEの基礎」通信講座の開講

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、VEの基礎を学び、VEリーダー（VEL）資格認定試験の受験資格を取得できる機会を設けること等を目的に開講し、40名が受講。

#### (4) VEコンサルタント養成講座の開催

開催日	10月10日、11月21日、12月12日
会 場	日本VE協会
参加者	10名

#### (5) 西日本支部（九州地区）でのVE塾の開講

##### ① VE塾の開講

地区名	メンバー	研究内容
九州地区 広島地区	18名 16名	製品VEや作業VEを実際に役立たせるための進め方やポイント。

##### ② 成果発表会（VEの基本と実践セミナー）の開催

	九州地区	広島地区
開催日	12月 4日	3月11日
会 場	(株)安川電機 本社	マツダ(株) 本社
参加者	58名	58名

(6) 西日本支部（東海地区）でのVE技術情報交流会の開催

開催日	6月19日	7月17日	9月17日
会場	イオンコンパス 名古屋駅前会議室	イオンコンパス 名古屋駅前会議室	イオンコンパス 名古屋駅前会議室
参加者	20名	19名	22名
内容	これならできる 職場の業務改善	チームリーダーに求められる ファシリテーション技術	これならできる テアダウンの活用
開催日	11月27日	2月6日	
会場	イオンコンパス 名古屋駅前会議室	イオンコンパス 名古屋駅前会議室	
参加者	17名	24名	
内容	製造業の パラダイムシフトを支える 付加価値会計	自分を知り 自分を活かす アイデア発想の極意	

(7) CVSによるVE技術者育成の支援【「CVSフォーラム委員会」の開催】

	開催日	出席者	主な内容
第94回	4月17日	11名	① 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について、等
第95回	5月15日	9名	① 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
第96回	6月10日	9名	① 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
第97回	7月10日	8名	① 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
第98回	8月20日	10名	① 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
第99回	9月18日	8名	① 第48回「VE全国大会」ネットワーキング・パーティーでの新CVS紹介について ② 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
第100回	10月8日	11名	① 第48回「VE全国大会」ネットワーキング・パーティーでの新CVS紹介について ② 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
第101回	11月11日	9名	① 第48回「VE全国大会」ネットワーキング・パーティーでの新CVS紹介について ② 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
第102回	12月11日	8名	① 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について ② 「CVSフォーラム」総会の開催について
第103回	1月15日	11名	① 「CVSフォーラム」総会の開催について ② 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について、等
第104回	2月12日	11名	① 「CVSフォーラム」総会の開催について ② 商店主向け「商店街活性化VEプログラム」について
総会	3月18日	22名	① 新CVSの紹介と挨拶 ② 第8期前期の活動報告、及び第8期後期の活動計画について、等

(8) 公共機関でのVE技術者育成の支援

地方自治体中心の「全国設計VE推進研究会」が11月26日に静岡市で主催したVE活動発表会にVE専門家を派遣する等して、公共機関におけるVEの技術者教育を支援。

(9) 教育機関でのVE教育の拡充

- ① 大学におけるVE教育への支援を実施。
- ② ESDを推進している公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の協力を得て、同連盟の青年会員を対象としたVE体験ワークショップを3月19日～20日に実施。

## (10) 海外でのVE教育の支援

- ① 上海VE協会が主催したVE基礎研修、及び無料の普及セミナーの実施等を支援。また、同協会が上海市の小中学校で試行したESDへのVE的思考導入を支援し、その結果を第48回「VE全国大会」で発表いただいた。
- ② JETRO（日本貿易振興機構）バンコク事務所からの依頼に応じ、「日タイ経済連携協定に係る自動車人材育成事業」の一環で行われるVE研修の講師を派遣。

## 2. 資格認定

### 1) 資格認定試験の実施

試験名	実施日	会場	受験者	合格者
第39回 V E L 認定試験	4月18日 ～ 7月31日	全国約200箇所	947名	708名
第40回 V E L 認定試験	9月 1日 ～ 2月29日	全国約200箇所	2,216名	1,714名
第18回 VESスペシャリスト（VES）認定試験	11月 7日	東京・名古屋・ 大阪・福岡	81名	45名
第36回 CVS（Certified Value Specialist）認定試験	10月 3日	東京・大阪	8名	3名

※ 上海VE協会との提携により上海でもVEL認定試験を実施し、19名中13名が合格。

### 2) V E L 有資格者の継続教育

#### (1) 活用セミナーの開催

VE実践に役立つ技法や事例の紹介動画を協会Web Siteに掲載し、Webセミナー形式で活用セミナーを開催。

#### (2) フォローアップ研修の開催

開催日	9月10日	1月14日	2月25日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
参加者	22名	13名	（中止）
内容	社内講師のための VE教育のポイント	これならできる 業務改善VE	ソフトVE実践活動を やってみよう

### 3) 「バリュー・コンピテンシー」誌の編集・発行

総合的なスキルアップとキャリア形成を支援する情報誌「バリュー・コンピテンシー」の電子版を季刊で4回発行し、VELのA登録者等に配信。

### 4) 「バリュー・エンジニアリング（VE）」誌の編集・発行

#### (1) 「VE誌編集委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第76回	6月26日	11名	① 2015年度前期の編集実績と検討課題について ② 2015年度後期の編集企画と検討課題について、等
第77回	2月 4日	11名	① 2015年度後期の編集実績と検討課題について ② 2016年度の編集企画について、等

(2) VE誌の発行

第287号	第288号	第289号	第290号	第291号	第292号
4月 1日	6月 1日	8月 1日	10月 1日	12月 1日	2月 1日

5) 更新登録の実施

VEL、VES及びCVS登録者の更新登録を実施。

6) VE専門家の紹介

協会Web Site内に「VE専門家検索システム」という名称のデータベースを設け、登録を希望するCVS・VEスペシャリスト（VES）有資格者を広く紹介。

### 3. 講習

1) 第48回「VE全国大会」の開催

会 期	10月28日～29日【2日間】
会 場	アルカディア市ヶ谷
参加者	412名 (うち23名は、米国、中国、インド、タイ、韓国、メキシコ、ポルトガルからの参加者)
内 容	表彰式、講演、マイルズ賞受賞報告、VE活動優秀賞受賞報告、論文発表、事例発表、海外発表、特別報告、VEの新潮流、元気な中小企業に学ぶ、VEビギナーズフォーラム、VEプロモーターズフォーラム、ネットワーキング・パーティー、等

2) 地域VE大会の開催（西日本支部 関西地区、中四国・九州地区）

	第47回 VE関西大会	第59回 西日本VE大会
開催日	2月19日	9月18日
会 場	大阪国際交流センター	マツダ(株) 本社講堂
参加者	149名	77名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ フォーラム 2件</li> <li>➢ 事例紹介 1件</li> <li>➢ 技法紹介 2件</li> <li>➢ 講演 4件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 見学会 1件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> <li>➢ 講演 2件</li> </ul>

3) VEセミナーの開催（西日本支部 関西地区）

	VE阪神セミナー	VE京滋セミナー
開催日	7月17日	11月13日
会 場	クリエイション・コア東大阪	メルパルク京都
参加者	86名	85名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ フォーラム 1件</li> <li>➢ 事例紹介 3件</li> <li>➢ 講演 2件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事例紹介 2件</li> <li>➢ 技法紹介 1件</li> <li>➢ 講演 2件</li> </ul>

## 4. 研究開発

### 1) 組織体制の確立

「バリュー・マネジメント・アカデミー（VMA）」を開催し、組織体制確立のための検討を推進。

	開催日	出席者	主な内容
第1回	5月25日	5名	① VEの裾野拡大「VE情報誌への記事連載等」について
第2回	7月3日	4名	① 運営規約について ② VEの裾野拡大「VE情報誌への記事連載等」について
第3回	8月3日	4名	① 運営規約について ② VEの裾野拡大「VE情報誌への記事連載等」について
第4回	9月28日	5名	① 運営規約について ② VEの裾野拡大「VE情報誌への記事連載等」について
第5回	11月13日	6名	① 「価値企画研究会」について ② VEの裾野拡大「VEと他の管理技術の融合」について
第6回	12月24日	5名	① VEの裾野拡大「VEと他の管理技術の融合」について
第7回	1月28日	5名	① 本会の活動方針について ② VEの裾野拡大「VEと他の管理技術の融合」について、等
第8回	2月16日	6名	① VEの裾野拡大「VEと他の管理技術の融合」について ② 第43回「本部企画委員会」での報告内容・資料について
第9回	3月31日	5名	① 第43回「本部企画委員会」の概況報告 ② VEの裾野拡大「VEと他の管理技術の融合」について

### 2) 先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

VMAにおいて下記の開発研究会を設置して先端的の研究を推進するとともに、開発研究会の新設についても検討。それらの成果については、発表会又はVE資料等で発表の予定。

研究会名	メンバー	研究内容
価値企画研究会	6名	経営の諸機能から抽出したバリュー・インデックス（KFPI）を手掛かりに経営上の重点分野・優先順位を見つける手法。
公共事業のVM研究会	5名	公共事業（土木分野）の各段階におけるVEの具体的なメソドロジー。

### 3) 各支部での実務的研究の推進

#### (1) 機能別部会での研究活動

① 東日本支部に下記の機能別部会を設置して実務的な研究活動を推進。

部会名	登録者	部会名	登録者
マネジメント部会	17名	R&D部会	24名
VE推進部会	21名	ものづくり部会	39名
マーケティング部会	20名	社会インフラ部会	18名

② 活動報告会を開催して、上記各部会での取り組み内容や活動成果の一端を紹介。

開催日	3月7日
会場	日本経済大学大学院
参加者	81名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 各部会の活動報告</li> <li>➢ 特別講演</li> </ul>

## (2) 専門研究会での研究活動

西日本支部の中部地区と関西地区に下記の専門研究会を設置して、実務的な研究活動を推進。それらの成果については、VE資料又は大会・セミナーで発表。

### ① 東海地区

研究会名	メンバー	研究内容
中部建設VE研究会	14名	地域の実状にマッチした新たな時代の建設VE活動のあり方と「2時間VE手法」のさらなる洗練化。

### ② 関西地区

研究会名	メンバー	研究内容
つかいやすいTRIZ研究会	25名	VE等を含めた管理技術としての幅広い視点によるTRIZの普及・活用法。
経営革新を生み出す活き活きVE研究会	94名	各社のVE推進や実践方法等の情報をもとにした、VEの効果的な普及方法と活用法。
実践原価企画研究会	21名	仕組み・制度やツール等、原価企画を実践するための具体的な方策。
VEツール研究会	34名	ソフトVE等、過去に開発されたVE手法の見直しと実践。
サービス領域でのVE適用方法研究会	12名	第3次産業での共通領域であるサービス領域において効果的にVE活動を進める方法。
コンセプト・メーカーVEレベルアップ研究会	11名	現在のCMVE技法に、採算性の客観的評価を可能とするため売価設定、原価見積等の要素を付加した方法。

## 4) プロジェクト形式での研究及び検討活動

### (1) Reverse Value Innovation (仮称) の研究

	開催日	出席者	主な内容
第1回	6月2日	2名	研究会の主旨、活動計画、アウトプットについて
第2回	7月29日	2名	不利益ワークショップの実施
第3回	8月31日	2名	VE、TRIZ、不利益による新たな可能性
第4回	10月16日	3名	IOT時代の利便性事例、不利益とIOT
第5回	12月2日	4名	IOT事例のメリット・デメリット分析
第6回	12月21日	4名	対象テーマの機能の定義、機能の整理
第7回	1月25日	4名	対象テーマの機能系統図を矛盾マトリックスで検討
第8回	2月24日	4名	対象テーマの機能系統図を矛盾マトリックスで検討

### (2) 公共事業におけるVE普及促進の検討

「公共事業のVM研究会」主査に相談する等して、公共事業におけるVE活用のための課題や施策の検討、情報発信等を行うプロジェクト組織の立ち上げについて検討。

## 5. 表彰

### 1) マイルズ賞の審査・授与

#### (1) 「マイルズ賞審査委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第66回	5月7日	4名	① 書類審査の結果について ② 理事会への答申内容について、等
第67回	8月27日	4名	① 現地審査の結果について ② 理事会への答申内容について

(2) 理事会での授賞の決定

賞名	授賞先	所在地
マイルズ賞	マツダ株式会社 原価企画本部 殿	広島県府中町

(3) 授賞式・受賞報告会の開催

開催日	10月28日
会場	アルカディア市ヶ谷 3階 富士
内容	授賞式、受賞報告

2) 協会顕彰の実施

(1) 「顕彰委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	8月27日	2名	① 協会顕彰（個人表彰）の審査 ② 協会顕彰（VE活動優秀賞）の審査、等

(2) 受賞者及び受賞事業所の表彰

次の各賞の表彰を第48回「VE全国大会」で実施。

普及功労賞	① 薄衣 光明 氏	(株)IHI
	② 川内 一哉 氏	(株)ノーリツ
	③ 小泉 章 氏	(株)日立製作所
	④ 吉岡 浩 氏	三菱電機(株)
	⑤ 吉澤 郁雄 氏	(学)産業能率大学
VE活動優秀賞	① 三菱電機(株)	福山製作所 殿

3) VE研究論文及びVE活動事例の審査・表彰・発表

(1) 「論文審査委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	6月29日	8名	① 応募論文及び事例の審査、等
第2回	8月28日	9名	① 修正論文及び事例の審査、等

(2) 入選論文・事例の表彰・発表

次の各賞の表彰・発表を第48回「VE全国大会」で実施。

入選論文	① 大西 規生 氏	(有)大西マネジメント・ソリューション
	② 宮田 仁奈 氏	(株)IHI
	③ 大西 正規 氏	(有)大西マネジメント・ソリューション
	④ 内田 仁一 氏	(株)デンソーウェーブ
入選事例	① 影山 克行 氏	福山市
	② 酒井 浩一 氏	首都高速道路(株)
	③ 内田 佳代 氏	(株)ETERNALSMILE
	④ 佐々 松音 氏	MSバリューコンサルタント
	⑤ 香川 孝二 氏	三菱重工業(株)
	⑥ 斉藤 浩治 氏	Mind-J

## 6. 広報活動

### 1) 協会Web Site等による情報発信

- (1) 協会Web Siteを運営。定期更新を行うとともに、会報「バリュー・ステーション」電子版の隔月（奇数月）発行・掲載を行い、VEや本会に関する最新情報を積極的かつタイムリーに発信。また、Web Siteの全面リニューアルを行ってコンテンツを充実させ、より見やすくなるようデザインも一新。
- (2) 協会Web Site内にブログを開設。VEや本会に関心を持ってもらうことを図り、本会職員が日常の出来事等とVEを関係付けた形で纏めて発信。
- (3) 協会 Facebook のページにもセミナー・大会等の詳細や本会からのお知らせ等をタイムリーに投稿し、Facebook ユーザーである本会関係者からの情報拡散を促進。また、VEL専用のFacebookページも開設し、特に就職活動を控えた学生をターゲットにSNSの活用を強化。

### 2) メールマガジンによる情報発信

「VE情報メール」を毎月1回発行し、VEや本会に関する最新情報を積極的に発信。また、大会・セミナー等の案内や参加者募集などPRにも積極的に利用。

### 3) 経営者層へのVE普及

経営者層にVEを理解し組織でのVE活用を促進していただけるようにするため「VE経営者フォーラム」を理事会の開催日に試行開催し、事業化について検討。

開催日	5月12日	9月1日	3月14日
会場	アイビーホール（青学会館）	アイビーホール（青学会館）	アイビーホール（青学会館）
テーマ	IHIの製品競争力強化・VE活動（調達力強化を中心に）	協創力が稼ぐ時代 -ビジネス思考の日本創生・地方創生-	もうかる設計 プロフィタブル・デザイン
参加者	17名	16名	12名

### 4) 海外での普及促進

上海VE協会に協力し、中国民間企業でのVE導入・実践や日系企業での共同VEワークショップ実施、中国建築師資格の継続教育学習プログラムへのVE導入を支援。

## 7. 情報資料

### 1) 研究成果の資料化

- ① ソフトVE研修の演習事例の開発  
（西日本支部VEツール研究会編） 7月10日 発行
- ② 商品企画VE コンセプト・マーケティングVE  
（西日本支部コンセプト・マーケティングVEレベルアップ研究会編） 2月10日 発行
- ③ VE活動推進のためのポイント集 -VE推進者によるVE推進者のための31問31答-  
（東日本支部VE推進部会編） 3月7日 発行

### 2) その他資料の発行

第48回「VE全国大会」VE研究論文集及び資料集（電子版） 10月27日 発行

### 3) 講座テキスト等の翻訳・発行

「はじめてのVE－仕事の“価値”を高める7つの質問－」をスペイン語、タイ語に、「2時間VEワークシート」を英語、中国語、ベトナム語に、「VEテキスト－価値分析授業－」を英語、中国語に翻訳し、ハードコピー又は電子データの形で販売。

### 4) VE研究論文のネット販売

電子化した過去のVE研究論文を協会Web Site内に開設したVE研究論文検索・購入サイト「VE論文navi」において販売。

## 8. VE活用支援

### 1) 出前講座の実施

No.	開催日	受講者	内容
1	7月29日～30日	29名	VE基礎講座
2	7月30日～31日	11名	VE基礎講座
3	8月3日～4日	15名	VM実践塾テクニカルスキルコース「開発設計のVE」
4	8月10日～11日	30名	VE基礎講座
5	9月3日～4日	5名	VE基礎講座
6	9月4日～5日	14名	VM実践塾テクニカルスキルコース「VEブラッシュアップ」
7	10月7日～8日	23名	ソフトVE研修会
8	10月22日～23日	4名	VE基礎講座
9	10月24日	17名	VE1日セミナー
10	11月24日、 12月1日～2日	20名	VE基礎講座
11	12月17日～18日	8名	ソフトVE基礎講座
12	1月28日～29日	15名	VE基礎講座
13	2月13日	20名	VE1日セミナー

### 2) 指導講師の派遣

依頼に応じて3社に講師を派遣し、VE導入又は実践の個別指導を実施。

### 3) VEワークショップ・セミナー（48時間以上）の認定

No.	セミナー名	認定日	法人名
1	ユニオン・VEスペシャリスト養成講座	4月1日	(株)ユニオン 殿

## 9. 会員相互研鑽

### 1) 見学会・講演会等の開催

#### (1) 東日本支部

	事業所見学会		
開催日	6月10日	9月8日	2月8日
会場	関西ペイント(株) 開発センター	日本航空(株) JALメンテナンスセンター	新日鐵住金(株) 君津製鉄所
参加者	28名	33名	28名

	特別講演会
開催日	11月9日
会場	日本VE協会
テーマ	セカンドライフを アクティブに生きる！
参加者	28名

#### (2) 西日本支部（関西地区）

	工場見学会
開催日	11月27日
会場	(株)フジタ 千船病院移転整備工事現場
参加者	15名

#### (3) 西日本支部（中四国・九州地区）

	工場見学会
開催日	7月21日
会場	(株)フジタ 沼田川シールド作業所
参加者	15名

## 10. 会 議

### 1) 定時総会の開催

開催日	6月17日
出席者	83名
議案	① 2014年度 計算書類承認の件 ② 理事選任の件 ③ 「入会手続き及び会費規程」一部改定の件

## 2) 理事会の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第14回	5月12日	12名	① 2014年度 事業報告書及び計算書類承認の件 ② 理事選任の件 ③ 第5期定時総会招集の件、等
第15回	9月 1日	12名	① 2015年度 顕彰者決定の件 ② 2015年度「マイルズ賞」決定の件 ③ 2015年度「マイルズ賞受賞報告会」開催の件、等
第16回	3月14日	12名	① 2016年度 事業計画書案及び収支予算書案承認の件 ② 2016年度 資金調達及び設備投資の件 ③ 参与、委員長及び副支部長委嘱の件、等

## 3) 「本部企画委員会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第43回	2月26日	7名	① 各委員会・各支部の2015年度概況と2016年度計画について ② 委員会・支部からの提案について、及び委員会・支部間の活動の調整等 ③ 各委員会・各支部の2015年度概況と2016年度計画について

# 11. 会員数の異動

		会員数		入 会	退 会	増 減
		2015年 4月 1日	2016年 3月31日			
正 会 員	団 体	83	81	5	7	-2
	個 人	42	44	5	3	+2
賛助会員	団 体	88	87	9	10	-1
	個 人	63	68	9	4	+5
合 計		276	280	28	24	+4

以上